

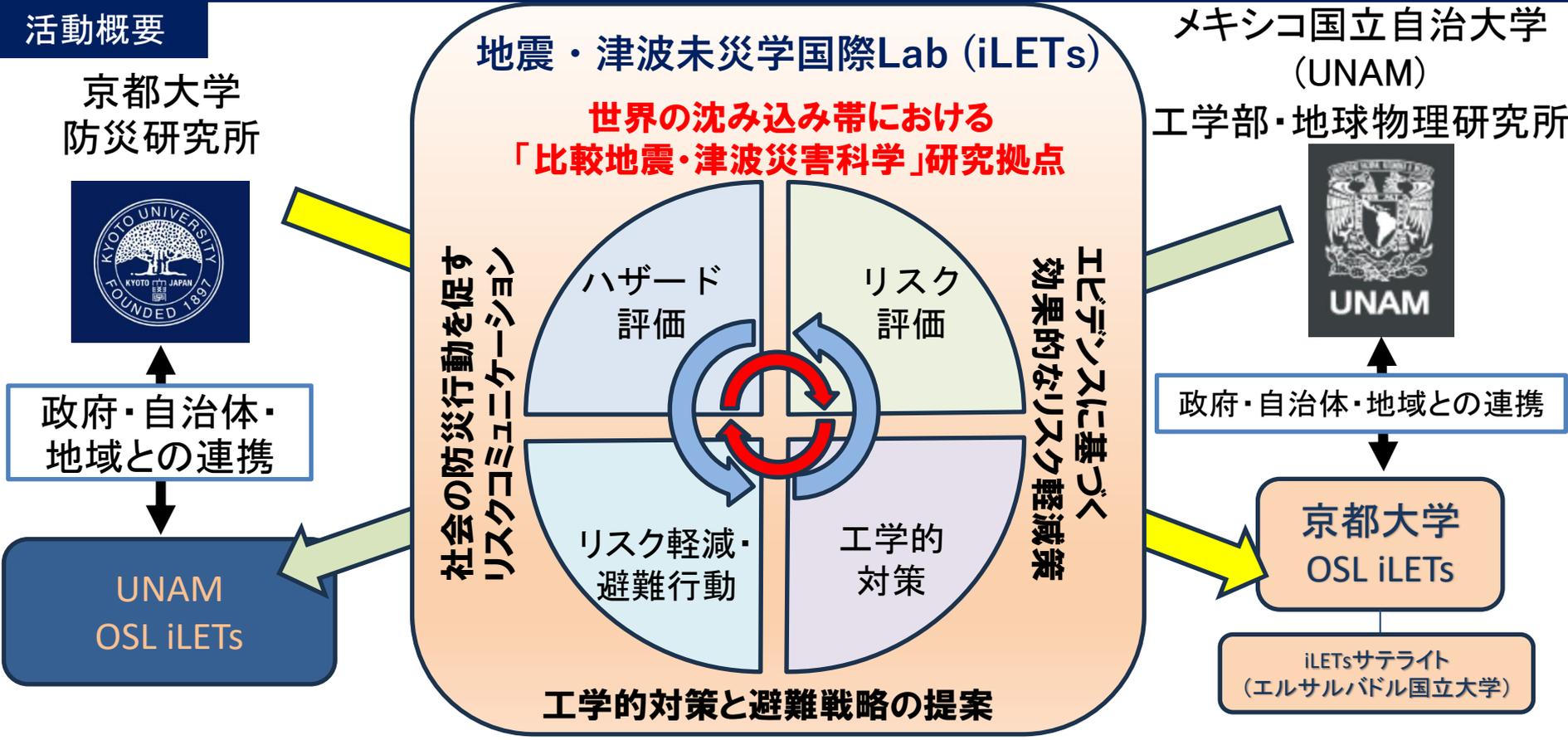
基本情報

- ◆ 認定年度: 2024(令和6)年
- ◆ 実施部局: 防災研究所
- ◆ 相手方機関: メキシコ国立自治大学
- ◆ 設置時期: 2024(令和6)年11月
- ◆ 設置場所: メキシコ国立自治大学(メキシコ合衆国・メキシコシティ)
京都大学防災研究所(宇治キャンパス総合研究実験2号棟)
- ◆ 設置タイプ: クロスバウンド型
- ◆ 設置目的: 沈み込み帯における地震・津波災害の軽減に向けた学際的研究拠点の設立
- ◆ 教育研究活動内容: 理学、工学、社会科学による地震・津波災害とリスクの理解の高度化

活動による大学全体への波及効果

- ・ 新たな学問分野「比較地震・津波災害科学」の設立
- ・ 地震・津波防災研究をリードする京都大学の周知
- ・ ラテンアメリカコミュニティとのHub Laboratory
- ・ 優秀な修士・博士課程の学生の獲得

活動概要



2024年度の主な活動実績

① 共同研究成果のメキシコ防災政策への活用に関する共同声明

- 防災研究所、メキシコ国立防災センター(CENAPRED)、メキシコ外務省国際協力開発庁(AMEXCID)、JICAメキシコ事務所との間で、共同研究成果をメキシコ国内の防災政策に活用することに向けて、共同声明に関する署名式を2024年11月28日(メキシコ時間)に、CENAPREDにて行いました
- メキシコ国立自治大学内および京大防災研内に設置されたクロスバウンド型On-site Laboratory「地震・津波未災学国際Lab」および、メキシコにて実施中のSATREPS「北中米太平洋沿岸部における巨大地震・津波複合災害リスク軽減に向けた総合的研究」を念頭に、メキシコの防災行政・大学ネットワークとの連携強化を目的としています。



CENAPREDにおける防災政策に関する会議

② 「地震・津波未災学国際Lab」の開所式をメキシコ国立自治大学にて実施

- 京都大学On-site Laboratory「地震・津波未災学国際Lab」の発足を記念し、2024年11月29日に、メキシコ国立自治大学において開所式を行いました。
- 開所式には、メキシコ国立自治大学の関係者に加えて、本清耕造在メキシコ日本国大使、小林千晃国際協力機構(JICA)メキシコ事務所長、エンリケ・ゲバラ・オルティスメキシコ国立防災センター総局長、ホセ・アルフレド・ガルバン・コロナメキシコ外務省メキシコ国際協力開発庁メキシコプロジェクトオペレーション総局長、本学からは、河野泰之副学長と堀智晴防災研究所長が出席しました。



開所式における河野副学長の講演